

分析結果報告書〔1〕 1／2
1. 1 模擬排水試料（COD）

機関コード	
機関名	
電話番号	
国際的な認証等の取得（複数回答可）	1. ISO 9001～9003 2. ISO/IEC 17025(かゝ付ゝ25) 3. MLAP 4. 環境省が実施するダイオキシン類の請負調査の受注資格 5. （上記1～4を取得していないが）品質マネジメントシステム(QMS)を構築している
分析主担当者名	
分析主担当者の経験年数	（ ） 年
分析主担当者の実績 （年間の分析試料数）	（ ）
分析(主)担当者以外の分析結果の確認	1. あり 2. なし

＜分析結果＞

分析結果		分析結果 (mg/L)		注 2)
測定回数	注 1)	検出下限値以上		注 3)
		検出下限値未満での検出下限値		注 3)
1 回目				
2 回目				
3 回目				

注1) 分析用試料のはかり取りから測定までの一連操作を行った回数。

注2)「分析結果」については、「検出下限値以上」又は「検出下限値未満での検出下限値」のいずれかを記入する。

注3) 検出下限値以上は有効数字3桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字1桁で記入する。

<分析方法等>

分析開始月 日	月 日
分析終了月 日	月 日
分析方法	1. 滴定法 2. その他 ()
使用した水	1. 蒸留水 2. イオン交換水 3. 超純水 4. その他 ()

<測定条件等>

試料量（分析用試料の分取量）	（ ） mL
予備試験 （複数回答可）	1. 試料の分取量を決める試験（CODの概略値を測定）を実施した 2. 銀塩の添加量を決める試験（塩化物イオン濃度の定性的な測定）を実施した 3. 銀塩の添加量を決める試験（塩化物イオン濃度の定量的な測定）を実施した 4. その他の試験を実施した（ ） 5. 実施しなかった
銀塩の使用 種類	1. 硝酸銀溶液（200g/L） 2. 硝酸銀（粉末） 3. 硫酸銀（粉末） 4. その他（ ）
添加量 注1） 添加後のかく拌 注2）	（ ） mL 又は g 1. 手動振り混ぜ（約 ）回／分（ ）分間 2. マグネチックスターを使用（約 ）回／分（ ）分間 3. 振とう機（約 ）回／分（ ）分間 4. その他（ ）
水浴中の温度	最初（ ）℃ 15分後（ ）℃ 30分後（ ）℃
標準原液 （過マンガン酸カリウム溶液）	1. 購入 2. 自作 1. の場合のメーカー（ ） 1. の場合の濃度（ ）mmol/L
5mmol/L 過マンガン酸カリウムのファクター	（ ）
5mmol/L 過マンガン酸カリウムの滴定量 試料の滴定量	1 回目（ ）mL 2 回目（ ）mL 3 回目（ ）mL
空試験の滴定量	（ ）mL

注1) 硝酸銀溶液(200g/L)では mL、硝酸銀(粉末)又は硫酸銀(粉末)では g 単位で記入する。

注2) 添加後のかく拌方法を選択し、かく拌回数（振とう数又は回転数）とその時間を記入する。なお、時間は分単位で記入する（例えば、30 秒では 0.5 分間とする）。

分析結果報告書〔1〕 2 / 2

1. 1 模擬排水試料 (C O D)

＜試料の保存状況＞

保存状況	保存方法等 保存時間 保存温度	注 3) 1．冷暗所保存 2．保存しない（直ちに分析） 3．その他（ ） （ ）時間 約（ ）℃
------	---------------------------	--

注3) 時間単位で記入する(例えば、60分では1時間とする)。

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点	
--------------------------	--

計算式	
-----	--